



## 地域と共に考える 学校教育の未来

少子化によって大きな転換期を迎えている学校教育。子どもたちにより良い教育環境をいかにして残していくか。市は、学校再編によってそれを実現しようと計画しています。

CONTENTS	ページ
特集 学校教育の未来	2~5
のど自慢、電子図書館開館 ほか	6~11
まちかどレポート、もちふみ ほか	12~15
お知らせ掲示板、思ひ出写真館 ほか	16~23



【上】卓球の個人戦で全国制覇を成し遂げた伝習館高校3年の吉住さん。同校の選手が卓球で日本一になるのは初めて【左上】練習では得意なバックハンドのさらなる強化に取り組んでいる【左下】3月28日、金子市長へ優勝を報告。「卓球で柳川を盛り上げてほしい」と金子市長から激励を受けた

## 柳川探求

No.25

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

## 伝習館高校の吉住さんが卓球日本一 父と共にさらなる高みを目指す

吉住 聖香 さん (17歳)

3月18日から21日にかけて栃木県で開催された全国高等学校選抜卓球大会。その女子シングルスで、伝習館高校3年の吉住聖香さんが日本一に輝きました。

### 4歳で握ったラケット 練習は父と二人三脚

卓球経験がある両親のもとに生まれた吉住さん。特に父勝彦さんは国体と全日本選手権に2度ずつ出場したことがあるほどの腕前です。そんな両親の影響で、4歳になるころにはラケットを握っていたそうです。以来、

自宅にある卓球台で勝彦さんの指導のもと、めきめきと成長。小学4年生では九州大会で準優勝するまでに実力を付けていきました。

### 卓球にも勉強にも手を抜かない 文武両道を体現

吉住さんの卓球は守って粘り、相手の一瞬の隙を突くプレイスタイル。利き手と逆側に来たボールを打つバックハンドが得意だそうです。伝習館高校に入学してからは学年で上位の学業成績を保ちながら、休みの日は7時

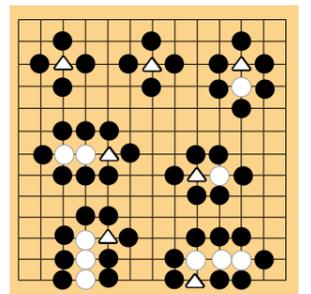
間ほど卓球に打ち込むなど、文武両道を体現している吉住さん。そんな努力が実を結び、過去の成績から県代表に選ばれ、全国大会への切符を手に入れました。「緊張した」と全国大会を振り返りつつも、たくさんの応援を受けて快進撃を続けた吉住さん。決勝では千葉県の手をセットカウント3対1で破り、全国制覇を成し遂げました。最後に吉住さんの次なる目標を尋ねると「強豪が集まる夏のインターハイでの全国大会出場」とすてきな笑顔で答えてくれました。

柳川観光大使

## 大淵盛人九段の次の一手

### 【囲碁のルール】

囲碁は基本的にどこでも打つことができます。しかし、白が、△の場所に石を置くと、すぐに取られてしまいます。この場所を「着手禁止点」といい、呼吸点(石の上下左右の空き)が全部ふさがっている所には、打つことができません。



## 編集後記

本年度の4月から広報広聴係に配属された新規職員の大淵盛人です。まさか自分が読んでいた広報紙を自分で書くことになるとは思いませんでした。まだ知らないことだらけですが、一つ一つ地道に学んでいきたいと考えておりますので、これからよろしくお願いたします。(大淵盛人)